

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 吉田産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物は適切な処理場に持ち込み、自社で処理できない産業廃棄物は専門業者に委託し適切に処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社内の照明はLEDに入れ替えている。 重機は低騒音型・排出ガス対策型に順次入れ替えを行っている。簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を把握する。 【予定】令和5年3月までに簡易計算シートを用いて把握する。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		重機・車両等はアイドリングストップの実施を全従業員に徹底・周知させている。簡易計算シートを用いてCO2排出量を把握する。 【予定】令和5年3月までに簡易計算シートを用いて把握する。			2.4				7.2	7.3	7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		河川掘削工事等において、オイルフェンスを設置し水質汚濁防止と重機から流れたオイル等を流さないよう配慮している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		デジタル機器によるペーパーレスや、再生紙・裏紙の利用に取り組む、再利用できる物は購入店などに返却している。										9.4			12.2	12.4	12.5	14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水用トイレを社内に設置してある。 建設現場から出る汚濁水は、適切な管理のもと分別・処理を行っている。			2.4			6.1	6.3	6.4	6.6			11.5			14.1	14.2	14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		社内で使用する消耗品は再生紙やカートリッジ式のプリンターで、使用済みインクは購入先に返却している。										9.4			12.4	12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6	11.7		13.1	13.3	15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1	7.2	7.3	7.a	9.4		11.5		13.1	13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3	11.4	11.5	12.2	13	15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1	6.3	6.6				11.3	11.4	11.5	12.2	13	15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			マイボトルやエコバックを年1回支給し、事務所にも常備している。事業及び従業員の活動により、ビニール袋やプラスチック製品等の使用削減に取り組んでいる。												12.2	12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2			13.1	13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1	7.2	7.3	7.a	9.4		11.6	11.a	12.8	13			17.2	

